

---

# 放射能除染日記

天海史郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

放射能除染日記

### 【Nコード】

N9845X

### 【作者名】

天海史郎

### 【あらすじ】

ガンマ線の空間線量0.3μシーベルトくらい。ベータ線を含めれば、数値はバンと跳ね上がる。しかしひどい汚染地域に比べたら、屁みたいなものなのですかね。「直ちに健康被害が出ない」なら、じわじわとやられるって訳ですか……。低線量の長期間被ばくプラズ内部被ばく。「笑って過ごせば、放射能に勝てる」なんて福島県委託の学者さんまで出てくるし……。笑いながら、じわじわ死にましよう……。アホか！ただ何となく書き出したので、ただ何となく読んでくだされば……。

### 3 土の除染、あれこれ

いままで幾つ穴を掘ったやら……これから、幾つ掘るのやら。

汚染土を埋めた跡には、ビニール紐を針金に結んで打ち込み、即席のマーカーを付けてある。仮置き場や中間貯蔵施設なんて、いつできるかわからないから、このまま未来永劫なんて……あり得ないことでもない。

東電さん、「仮置き場借地料×当面の100年分」と「危険手当」、それと「穴掘り人夫賃」も下さい。

ところで、「にんぷ」と打ち込んだら「人夫」と転換できなかった。試に「ひやくしょう」と入れたら「百姓」とでたけど、これって、自分で辞書登録したんじゃないかって……人夫だって百姓だって、差別用語なんかじゃないって……由緒ある立派な日本語なのに……作業員に農業従事者だなんて……ぶつぶつ。

余計な事を思い出した……テレビで『俺たち百姓は……』と言った人のテロップが『農業従事者は……』って流れていたなあ……。あの人の『百姓』と言った語感には、間違いなくプライドがこもっていた……。

#### 閑話休題、土の除染。

線量の高い場所を区切り、表土を5センチくらい掻き取る。移植ベラが最適だ。その土をビニール袋に入れていく。

ここからが本番。穴を1段ずつきちんと掘り下げていく。掘り上げた土は、汚染されていない大切な土だから、ビニールシートに積んでいく。我が家では、穴の深さは1mが限度、元の水田が出てきてグチャグチャなので、それ以上は掘れない。

穴を掘り終わったら、できるだけ空気を抜いて、汚染土を袋ごと入れる。その上から、綺麗な土をかぶせる。土は30センチもかけ

れば、線量は消える。この時、ビニール袋の空気をできるだけ抜いてやらないと、しばらくの間、地面がふわふわして、眩暈めまいか地震と勘違いしてしまう。

何のことはない、農業でいうところの「天地返し」だ。たが、この方法は農地には使えない。一度やったら、100年は天地返しができないのだ。下手すると何万年か年十万年、はたまた何百万年……詳しく知らないが、やんなるな。

ちなみに、土の下層の火山灰土——赤土（赤玉土）やら黒土、山土などなど——は貴重な資源。無菌で余計な肥料分がないので、これに堆肥や腐葉土と必要な栄養を混ぜてやれば、植物はすすくすく育つ。

ま、そんなこんなことで、まだ家の周囲の2割くらいしか除染していないが、我が家の屋内の線量はガクツと下がった。

おしつ、次なる作戦は、水攻め。秀吉得意の戦法の出番だ。K市の小学校で実験したら、線量が1割とか2割に下がったという報告が、ネットに出ていたのだ。

大量のペットボトルを買い込んで、場所によっては箱ごと積み上げて、他はボトルを並べる。使った端から、水道の水を入れる。むふふつ、線量がカクツと下がった。床が抜けないか、それが心配なだけだね。

これで屋根をやつつければ、おおかた片付く。後は、取りこぼした場所をぼちぼちやつつければ、「後で、真綿で首を絞めるように、じわつとくる健康被害」は、少しは減るみたい。

またまた閑話休題。

本日、久しぶりに快晴。よって、土の除染作業を再開す。

緊急の課題は、球根の植える場所の確保。あっちこっち掘り返したので、球根が山ほどできちゃった。小さいのやら、正体不明の球根は「ごめんね、ごめんね、悪いのは政府と東電だから」そう詫びながら、ゴミに出した。きつと奴らのケツから、根がでてくるぞ。

垣根の下が第一候補。垣根の下は、6月ごろに落ち葉を取っただけだから、線量はまだ高い。ここいらを除染して、ついでに水仙の半分は植えちゃおうって、高度なダブル作戦。

戦闘区域——垣根のちよい向こう（隣のお宅ですが）から、手前まで。1.5m×60cmが戦闘区域で、一般人の立ち入りは規制されている。誰も来ないだけだなんて、後ろ向きに考えてはいけないのだ。

戦闘服（作業服）に戦闘帽、<sup>キャップ</sup>防毒面、<sup>マスク</sup>狙撃グローブ（使い捨てのゴム手袋）に身を固め、軍靴（長靴）の編み上げ紐をきりきりと……長くつに紐はねえか……。ダブルカラムマガジンにバラベラム弾15発を装填したH&Amp;K USPを腰に下げ（移植べら）、64式7.62スコップ?小銃で武装した。64式つてのがいいと自画自賛。スコップが古いだけなんだけど。

そうだ……最前線では、ジャガイモ袋が必需品。ダブルにしたビニール袋をもつて、戦闘準備は完了した。除染つて、結構「武装」と「武装解除」シャワーと洗濯が大変なんです。

実は、セシウムだけだと、除染の要点は簡単なんですな。植物の栄養素（肥料）は、直接土に取り込まれているわけではないらしい。土に含まれている「土壤コロイド」に取り込まれて、分子結合しているんだそうです。植物の根が、この土壤コロイドから栄養分を吸収するわけですな。

土壤コロイドは、簡単に見ることができる。土や砂を、テキトーに瓶に入れて、テキトーに水を入れる。ガチャガチャかき回して、そこいらにテキトーに放置プレイしちゃう。

1分もしたら、下に土が沈んで、上にゴミが浮く。そして真ん中一帯が、薄いゼリーみたいなものになる。これがコロイド。煙や霧みたいなばらばらで（煙霧コロイド）、くっつかないんだそう。確かに、くっついて大玉になった煙や霧なんて見たことがない。

この土壤コロイドは、腐葉土や堆肥に圧倒的に多いのだ。そして、

カリと間違えてセシウムを取り込んでしまう。これを吸い取るために、ヒマワリを植えたんですな、早くでかくなるから。

ただねえ……テレビで見えていて、『ヒマワリが大きくなったら、すぐに次のヒマワリを植えたらいいのに……』と私は、小さくつばやいた。植物はカリ肥料を、成長期にしか吸わないはず……カリは根の成長に必要な養分だから、でかくなったらいらないのよ……子供だって、大きくなったら母乳は飲まないものな。

理屈としては、土と水をかき混ぜて、上澄みからセシウムを分離して、ぽい、なんだけどなあ。そんな簡単にはいかないだろうな。

ま、ま、そんなわけで、表層の腐葉土層を剥がしてやれば一番いいわけですな。5？も移植べらで掻き取ってやればいいわけです。木の根元は指で（使い捨てのゴム手が必要な理由）丁寧にほじくってやる、そして、ビニール袋にぽいぽい入れる。

きょうは、ここまでやって終了。無給ですからねえ、根を詰めるのも癪に障る。

庭の真ん中に、現在10袋くらい、汚染土が鎮座している。あした天気がよかったら、部屋のすぐ目の前の「元芝生地」に穴掘りですな。3枚のビニールシートを広げて、一番表土、2番表土、底土と分けて掘り上げる。埋め戻すときは、汚染土を袋ごと入れて、一番表土、二番表土、底土と逆に入れていく。底土は、30？もかければ完璧です。

必ず、底土が余りますので、これは大切に使いましょう。何しろ、乙女のごとく汚れなき土なのです！

ちなみに、一番表土、二番表土……これはワタクシの造語です、はい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9845x/>

---

放射能除染日記

2011年11月2日03時11分発行